

三月二十九日 (水)曇	一十時左記、者福岡雁、巢發軍用機ニヨリ那霸向フ 所記左記	庫司令官 參謀長 三宅參謀 坂口副官
三月三十日 (木)曇	一十時左記、者福岡雁、巢發軍用機ニ依リ那霸向フ 左記	葛野高級副官 釘宮參謀 松原大尉 村上技手 三十一時輸送部隊編成(本部 三ヶ中隊)完結 輸送指揮官 井上大尉 同 副官 鈴木大尉 四八時參謀、十二日那霸ニ發行シ司令官部到着ト支那 三十三時球作命甲第一號ニ依リ穿八十五兵站發信部隊

長ニ支那自國以テ防衛シ

陸軍

三月三十一日 (金)晴	一、軍八所命ノ如ク本日零時ヲ期シ流帥ヲ發動セリ 二、本隊ヲ率テ在泊所ニ在リテ	三、本隊ヲ率テ在泊所ニ在リテ
四月一日 (土)晴	一、軍八所命ノ如ク本日零時ヲ期シ流帥ヲ發動セリ 二、本隊ヲ率テ在泊所ニ在リテ	三、本隊ヲ率テ在泊所ニ在リテ
輸送部隊 件	一、軍八所命ノ如ク本日零時ヲ期シ流帥ヲ發動セリ 二、本隊ヲ率テ在泊所ニ在リテ	三、本隊ヲ率テ在泊所ニ在リテ
三月三十一日 (金)晴	一、軍八所命ノ如ク本日零時ヲ期シ流帥ヲ發動セリ 二、本隊ヲ率テ在泊所ニ在リテ	三、本隊ヲ率テ在泊所ニ在リテ
輸送部隊 件	一、軍八所命ノ如ク本日零時ヲ期シ流帥ヲ發動セリ 二、本隊ヲ率テ在泊所ニ在リテ	三、本隊ヲ率テ在泊所ニ在リテ

長ニ支那自國以テ防衛シ

陸軍

陸軍

二 西部軍、山口灣軍司令官、佐佐木鎮守府長官宛  
 軍統帥發勅ニ方ニ仰付、~~...~~ 概テ之ヲ  
 三 概テ之ヲ軍司令官、那霸飛行場ヲ巡視ス  
 四 輸送部隊ヲ引續キ、第七高等學校ニ入管ス  
 二 團ニ件

輸送部隊

四月二日

(日) 雨

幕僚隨行ス

三 司令部ノ位置ヲ那覇市政廳試驗場ニ決定ス

一 甲

輸送部隊件

輸送部隊引續キ、第七高等學校ニ入管ス

五四〇号

陸軍

四月三日

(月) 雨

一 球作命甲第三號ニ依リ、第八十五站發言備隊ノ立カ  
 二 以テ南大東島、北大東島及沖大東島(子島)ノ防  
 衛ニ任セシム

輸送部隊件

二 九時、本輸送部隊開城丸ニ乗船ス

四月四日

(火) 雨

一 九時、輸送船開城丸鹿見島港ヲ出帆、海軍艦艇ノ至嚴  
 二 九時、護衛艦ニ隨南進ス

輸送部隊件

一 球部隊輸送船開城丸、九時、鹿見島港出帆、那覇  
 二 井上大尉以下一四八名

四月五日	一 軍司令官、幕僚、民防空顧問會議ノ旨、陸軍省 二 津浦川岸ヲ巡視ス
(水) 雨	三 陸軍省、河野主計少佐、那覇南飛行場着
四月六日	一 輸送船開城丸ハ颶風警報ヨリ十九時三十分古仁屋ニ假泊ス 二 軍司令官、幕僚、野砲、水雷、射撃、陸軍視察隊、 三 自芝原崎砲台ヲ巡視ス
(木) 曇	四 陸軍省、河野主計少佐、那覇南飛行場着
四月七日	一 輸送船開城丸ハ引續キ古仁屋港ニ假泊ス 二 津浦川岸ヲ巡視ス
(金) 曇	三 陸軍省、河野主計少佐、那覇南飛行場着
四月八日	一 津浦川岸ヲ巡視ス 二 陸軍省、河野主計少佐、那覇南飛行場着
(土) 曇	三 陸軍省、河野主計少佐、那覇南飛行場着

陸軍

四月七日	一 輸送船開城丸ハ引續キ古仁屋港ニ假泊ス 二 津浦川岸ヲ巡視ス
(金) 曇	三 陸軍省、河野主計少佐、那覇南飛行場着
四月八日	一 津浦川岸ヲ巡視ス 二 陸軍省、河野主計少佐、那覇南飛行場着
(土) 曇	三 陸軍省、河野主計少佐、那覇南飛行場着
四月九日	一 津浦川岸ヲ巡視ス 二 陸軍省、河野主計少佐、那覇南飛行場着
(日) 曇	三 陸軍省、河野主計少佐、那覇南飛行場着

	出張ス
	三 金官参謀 松原大尉 飛行場偵察ノ爲 伊江島ニ出張ス
	四 輸送部隊 天時那泊港入港 全員 奥州ナク上陸ヲ行機ス
	五 軍司令官 那泊港ニ於テ輸送部隊ニ訓示ス
	六 水雷隊 奄美 奥州ヨリ左記 通報ヲ受領ス
	井上大尉以下 開城丸ニテ 九日 一時 古仁屋ヲ出港ス
四月十日	一 廿時 輸送部隊司令部ニ到着ス
(月)晴	二 廿時 将校全員ニ対シ 軍司令官訓示ス

陸軍

四月十日	一 軍司令官 那泊市防空施設ヲ視察ス
(天)晴	二 九時 九分 佐古 保鎮守府ヨリ 左記 通報ヲ受領ス
敵潜水艦ニ関スル件	一 十日 十一時 敵潜水艦カ
	二 北緯 三三度 三八分 東経 一三六度 〇四分
	三 釘宮参謀 松原大尉 本日 歸隊ス
	四 参謀部 業務 分擔ノ別紙 海軍ヨリ 別紙ニ示カ
四月十一日	一 軍司令官 那泊 警防分團及 裁判所ニ於テ 民防空ニ関シ 講話ス
(木)晴	和才大尉 隨行ス
輸送船 雷撃	二 九時 三十分 那泊 海軍航空隊ヨリ 左記 通報ヲ受領ス
二 聞スル件	一 前 津高崎 三三度 三理 海岸 下時 十分
	二 二時 廿九分 敵潜水艦 攻撃手ヲ受ケ 沈没ノ姿アリ
	三 廿時 卅分 那泊 海軍航空隊ヨリ 左記 通報ヲ受領ス
	一 十時 卅分 海軍航空隊

四月十三日	一 北緯二八度。八分 東經一三八度五八分 口中丸 沈没ス 二 護衛艦ツバメ 附近ヲ爆雷攻撃 制壓中ナリ 三 護衛艦ツバメ 附近ヲ爆雷攻撃 制壓中ナリ 四 口中丸 遭難ノ情報ニ接ス 直ニ緊急発報カニ転 移ス 五 八重松海軍少尉 本日歸隊ス
四月十三日	一 軍司令官 本島地区内 徴兵 検査ヲ視察ス 二 七時 佐佐保鎮守 存リ 左記通報ヲ受領ス 三 十二日 二時五分 敵潜水艦アリ 四 東経一七八度五分 北緯二八度 八分 五 七時 本奄美要塞ヨリ 左記通報ヲ受領ス 六 口中丸 雷撃ヲ三本ノ内一本ニ着弾 船體ニ命中ニシテ 沈没ス 七 乗組員 八九名 船客総数 三三名

陸軍

四月十四日	一 佐佐保鎮守 存 長官司令 部訪問 僅有 其時 (全) 晴 二 不時着機 三 七時 船浮要塞ヨリ 左記通報ヲ受領ス 四 口中丸 獨立飛行隊 第七中隊 「ガカタ」機 十二日 十六日 五 石垣島 大決飛行場 ニ不時着ス 六 人員機 体 夫 是 状 ナシ
四月十五日	一 球 作 命 了 第 二 號 (別紙 第一)

(五) 晴

開ツル印ス

(別紙 第一)



四月十八日 一陸軍省課員司令部兵備状況視察案之爲 未可  
(火) 曇 二〇、二五、廿東島海軍部隊より天記連報ヲ受領ス  
敵潜水艦、 一、中大東島十八日 〇〇、一九、敵潜水艦ニ出ス  
件 二、兵員住民、被害口調査中

四月十九日 二二〇、シサ島巡査部長より天記連報ヲ受領ス  
(水) 晴 一、十八日 〇〇、五〇、敵潜水艦ニ隻ヲサ島西方ニ浮上シ  
約四十分夜點手ス  
二、建築木損害約一十圓人員其他異状ナシ

四月二十日 一、鈴木大尉、松井少尉、宗像曹長、下士官、兵教育ノ  
(木) 晴 監督、教官、助教ヲ命セシ  
二、鈴木大尉、松井少尉、宗像曹長、下士官、兵教育ノ  
三、鈴木大尉、松井少尉、宗像曹長、下士官、兵教育ノ

四月二十日 一、十六日三十分奄美要塞ヨリ天記通報ヲ受領ス  
(金) 晴 一、輿論島監視哨  
不時着機 二、二十三日、輿論島東海岸ニ飛行機一機不時着  
関スル件 セリ機体小被害、乗員無事

被害状況 未可  
依頼ノ件 一、十八日、敵潜水艦被撃テ、シサ島南大東  
島、被害状況ニ関シ、島長、毎日報ニ依リ通  
報セカタリ、南大東島ノ被害状況、承知ス、通  
報相煩ク

四月二十一日 二七時第十九航空地司令部下飛行場関係部隊

(王) 晴 那覇南港ニ入港ス

敵潜水艦ニ見出し三〇分佐古保鎮守ヲ左記速報ヲ受領ス

件 一、三十二日 六時二十分 敵潜水艦ヲ探知ス

二、北緯二六度三〇分 東經一三七度四八分

三、十三日〇分 監視隊本部ヨリ左記速報ヲ受領ス

一、七時五分 本部西方砲臺第四、五発聴取ス

二、海軍航空隊ヨリノ報ヲ依テ船團ニ異状ナシ

三、護衛中ノ掃海艇名護灣附近ニ於テ七時爆音

以惠ヲ実施ス

四、二〇日三〇分 海軍ヨリ左記速報ヲ受領ス

一、三十番監視船 能高丸 五時三十分

二、北緯二二度五三分 東經一一九度四八分

魚雷二枚キモノニ本船底ヲ通過セリ

四月二十三日 二時三十分 敵潜水艦ニ對シテ時事解説ヲ実施ス

(日) 晴 二〇日六四〇 佐古保鎮守ヲ左記速報ヲ受領ス

一、三十二日 二十時三十分

二、北緯三三度五五分 東經一一九度十九分

三、雷跡ヲ認め

ト西ノ方ニ

二、三時三十分 敵潜水艦ヲ探知ス

三、北緯二二度五五分 東經一一九度十九分

三、三二日一八分 徳島令遣隊ヨリ左記報ヲ受領ス

小暗号書人員器材其他異状ナシ

二、全員志氣旺盛ナリ

四、現任中隊長ヨリ後ヲ格別大尉ニ名簿島飛行場長